

富島ろ

【第260号】

発行 R4. 12. 5
東海市立富木島小学校
TEL 052-601-5311
ホームページ



富木島小

検索



お互いを思う気持ち大切に



2022年の年の瀬を迎え、来年を迎えるための準備で忙しくなるころです。「忙」という漢字は「へん」と「つくり」を別々に読むと「忡」（こころ）を“亡”くす」となりますが、忙しい中であっても、ふきしまっ子たちとじっくり向き合う心のゆとりをもつことを教職員みなどで、より大切にしていきたいと思えます。

また、ふきしまっ子のみんなにも、心のゆとりをもてることを大切にしてもらいたいと思えます。心のゆとりは、共に生活をする仲間を思いやる気持ちをもてるゆとりへとつながっていきます。

これに関連して、今週は【人権週間】です。ふきしまっ子たちは『“自分の大切さ”と“相手の大切さ”』に目を向け、人権について考える機会をもちます。

早速、週はじめの本日の朝会で、私から次のようなお話をしました。

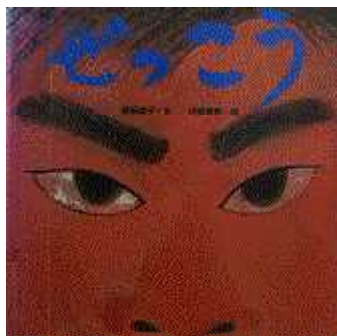
人権って何でしょう。言葉にして表してみると、【人権とは、「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利】です。【「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利】と表すこともできます。

人権は、だれにとっても身近で大切なものであり、日常の思いやりの心によって守られるものであり「自分の大切さと他の人の大切さを認めること」（「命を大切にすること」や「みんなと仲良くすること」など）で守られるものです。

人権が守られるためには、【人権感覚】が必要となります。【人権感覚】って何だろう？と考えたとき、様々なことが思い浮かんできます。「なるほど、そうだよ」と胸にストンとおちる言葉（詩）を桑原律さんの詩集「光は風のなかに」の中に見つけました。



そして、詩を紹介しました。この詩の中で、「**人権感覚**」は「**助け励ます心のこと**」「**共に語らう心のこと**」「**自らすすんで行動する心のこと**」「**人間尊重のために行動する心のこと**」とうたわれています。朝会でのお話は次のように続けました。



「自分を大切にする、他の人を大切にすること」をいつも以上に考える時間を過ごしてもらおうと、絵本をもってきました。

タイトルは「ぜっこう」です。

・・・（絵本を朗読しました）・・・

どうでしたか。今週は、いつも以上に「自分を大切にする・命を大切にする、他の人を大切にする・みんなと仲良くする」といったことを意識して過ごしてみてくださいね。

年の瀬の忙しい時期ではありますが、この機会に、誰にとっても身近な人権について、ご家庭でも話題にしてみてください。



小学校で最後の「学習発表会」に取り組みました!

11月18日(金)、6年生が学級ごとに1時間ずつ体育館で「学習発表会」をしました。

国語の授業で学んだ宮沢賢治の「やまなし」を劇で発表したり、修学旅行をはじめとした今年度の学びを発表したり、「翼をください」を合唱したり、盛りだくさんの内容でした。この日を迎えるまでに重ねてきた試行錯誤の取り組みや繰り返された練習を通して、それぞれの学級が集団として成長していることが感じられる発表でした。



学習発表会を終えて、各学級からの声を紹介します。

6-1 渡邊颯太「やりきった学習発表会」

小学校最後の学習発表会はやりきりました。

一つ目は、スライド作りを頑張ったこと、二つ目は、歌を頑張ったことです。そして一番頑張ったのは修学旅行発表です。言葉をはきはきいうことを注意しました。そのことを頑張ることができたので、とてもうれしかったです。今年の学習発表会は悔いなくできました。

6-2 高畑茉奈「全力でやること」

私は小学校生活最後の学習発表会でとても大切で、当たり前で常識なことを学びました。それは、何事も全力でやることです。きっかけは、翼をくださいの伴奏をやったことです。楽譜を渡されたのが本番3週間前で、通常より、かなり短い練習時間でした。それでもやるからには全力でやったほうが後悔しないと、たくさん練習をしました。周りの人に、たくさん迷惑をかけました。そして本番、とてもうまく弾くことができました。弾いているとき、楽しいと思える余裕ができました。それくらい全力だったのだと思います。

6-3 成田煌梨「苦戦したけど楽しかった劇」

今日は、待ちに待った学習発表会でした。私は、やまなしの劇のカニ役を担当しました。練習では、声が大きく出せなくて動きも小さくまいちでした。でも他の子を見たら、上手にできていたので頑張ろうと思いました。そして、同じカニ役のみんなと協力して動きなども考えました。舞台上に登場する直前まで緊張していましたが、登場したときにセリフを大きく言えて良かったなと思いました。

6-4 奥村涼大「小学校生活最後の学習発表会」

僕は、学習発表会をふり返って最高の学習発表会だったなと思いました。理由は色々なアクシデントもあったけど精一杯頑張ったと思えるものになったし、何より全力で楽しむことができて本当によかったと思ったからです。残りの小学校生活も楽しみたいです。

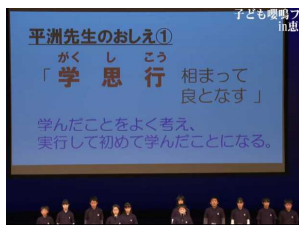
卒業が近づくとつれ、行事に取り組む時に「小学校最後の〇〇」という意識が強くなってくると思いますが、一つ一つが自分自身の成長のチャンスとなります。「憧れの6年生」としてその成長の姿を1～5年生のみんなの目に映してもらえたら、と思います。



「櫻鳴フォーラム」での学びを紹介



11月19日(土)に岐阜県恵那市で「櫻鳴フォーラム」が開催されました。『私たちのまちの先人について、学んでいること、考えていること、活かしていること』として岐阜県恵那市、同じく大野町、岩手県釜石市、宮崎県高鍋町そして東海市の小学生や中学生が集まり、学びあい、交流を深めました。本校からは代表として6年生の三浦永大さんが参加をしました。三浦さんに今回のフォーラムでの学び等をまとめてもらいましたので、紹介します。



櫻鳴フォーラムであったことについて紹介します。

まずは、バスで恵那市まで行く途中、レクリエーション(クイズ大会)をしました。僕は、0ポイントで悔しかったです。仲間とともに考えてするクイズ大会は楽しかったです。

次は、発表のリハーサルです。本番まであと少しという実感がわき、すごく緊張したから少し言葉が早くなったり、かんだりしました。すごく不安になりました。

そして、ホテルに行きました。ふっかふかでダニのいない布団。面白かったテレビ鑑賞。楽しかった友達とのゲーム。美味しかった朝食バイキング。と、最高に疲れを癒やしてくれました。

本番5時間前、恵那市を観光しました。今回は恵那峡に行ってきました。すごく緊張していましたが景色がきれいで、すごくリラックスできました。

リラックスして、美味しい屋敷弁当を食べた後、ついに本番となり緊張で震え上がりました。東海市の発表は3番目で席で他の市のグループの発表を聞いていたら、あっという間に東海市の番。足は震え、歯はガタガタ、心臓バクバクと、すごく緊張して、恐怖を覚えたほどです。僕は2回セリフがあり、締めを任されているので絶対に失敗してはいけな立場でした。発表最中、深呼吸して心を落ち着かせました。そして、1回目は緊張しながらもできました。しかし、締めまでわずかになると、今までにない緊張が僕を襲ってきました。それでも、頑張って、発表したら、少し早かったけど、かめずに言えました。すごくホッとしました。そして、終了後出演者の鈴木亮平さんと一緒に写真を撮りました。発表の時より興奮しました。今までの人生で一番嬉しかったです。

「櫻鳴フォーラム in 恵那2022」最高でした。

東海市の偉人、細井平洲先生は今につながる「子育て」や「教育」に関する言葉をたくさん残しています。それらの言葉に親子でふれる機会を大切にいただけたら、と思います。



後期学級委員の紹介です!



学級会のまとめ役として活動することが多い学級委員ですが、学級の代表としてリーダーシップを発揮するには、学級の仲間のフォローシップも大切になってきます。リーダーシップ、フォローシップを高められるよう、一人一人が力を発揮し、協力し合うグループ活動や係活動に毎日取り組んでいます。

リーダーシップ、フォローシップを発揮しながら、みんなでみんなの学級をつくってほしいと思います。後期が始まって1か月経ったところで、遅くなってしまいましたが、みんなで取り組む学級づくりの中心的役割を担う学級委員を紹介します。

学 級	学 級 委 員 氏 名		ク ラ ス 自 慢 ! 一 言
4 年 1 組	片山 澄海 (かたやま すかい)	三宅 彩加 (みやけ さいか)	もりもり完食元気全開
4 年 2 組	高木 愛梨 (たかぎ あいり)	丸尾 匡駕 (まるお きょうが)	元気と優しさMAX!
4 年 3 組	土井 珠歌 (どい じゅか)	服部 凌大 (はっとり りお)	助け合い学び合えるクラス!
4 年 4 組	石山 緩 (いしやま かん)	河村 寧々 (かわむら ねね)	男女関係なく仲良し!
5 年 1 組	高橋 佳織 (たかはし かおる)	吉村 大地 (よしむら だいち)	ノリ・切りかえ最強
5 年 2 組	石川 希羽 (いしかわ ののは)	榊原 爽介 (さかきばら そうすけ)	手がいっぱいあがる
5 年 3 組	神野 葉月 (じんの はづき)	深沢朔太郎 (ふかさわ さくたろう)	さわやか一流3組です!
5 年 4 組	梶野 星空 (かじの せら)	山田 康太 (やまだ こうた)	個性豊かで雰囲気がいい
6 年 1 組	神野 彩斗 (じんの あやと)	横山 蒼依 (よこやま あおい)	明るくて個性豊か
6 年 2 組	影山 翔也 (かげやま しょうや)	三宅ひより (みやけ ひより)	個性あふれるクラス
6 年 3 組	神谷 夢叶 (かみや ゆめか)	佐藤 颯祐 (さとう そうすけ)	明るく元気自慢の3組
6 年 4 組	田中 昂 (たなか こう)	福岡 真琴 (ふくおか まこと)	個性あふれ輝く

“給食試食会”を実施できました!



令和2年度・3年度と新型コロナウイルス感染症の影響で実施が叶わなかった「給食試食会」を本年度は実施することができました。毎年1年生の保護者の皆様を対象に行われる会ですので、実施できなかった現2年生、3年生の保護者の方々も対象として開催しました。10月4日(火)に2年生、11月8日(火)に1年生、11月10日(木)に3年生の保護者の方々に参加人数によって会場を体育館、家庭科室を使い分けての実施となりました。



【1年生の日には栄養教諭から給食についてお話も】

子どもたちが給食で実施している「黙食」を実際にしていただきました。保護者の皆様の思い出にある学校の給食といえば、みんなで会話を楽しみながらの食事であったと思います。4年生以上の高学年の子どもたちは「黙食」前の小学校の給食を知っていますので、みんなで会話しながらの給食がさぞ恋しいのではないかと、というお声もいただきました。食事中の会話については、新型コロナウイルスの感染状況を見合わせながら、まずは「マスク会食」(飛沫が周りに飛ばないように配慮しての会話のある食事)をできるように、と考えております。

参加された保護者の皆様には給食の様子もご参観いただき、ありがとうございました。



富木島のまちの行事に参加する姿



11月20日(日)、「富木島公民館まつり」が3年ぶりに開催されました。

前回の開催は令和元年度で、公民館の多目的ホールに並べられたイスには地域のたくさんの人たちが座っていたこと、PTA役員さんたちが出店していたこと、金管バンド部と5年生のほぼ全員が発表会に参加していたことなどが思い出されます。

新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと講じた上での今回の開催。

公民館に足を運ばれた地域の方々、保護者のみなさま、子どもたちのようすを目にして開催されたことの意義の大きさを感じました。みなさんの表情がとてものにこやかで、その催し事があることが嬉しいなあ、といった温かさが伝わってくるようでしたので…。

今回、「公民館まつり」で発表会に参加したふきしまっ子は、総合的な学習の時間で「伝統芸能」を学んでいる5年生と学び終えた6年生のうち参加を希望した子たちです。5年生110名、6年生11名が「虎舞」「花笠音頭」「富木島太鼓(2グループ)」の4部に分かれ、発表をしました。



【 虎 舞 】



【 花笠音頭 】



【 富木島太鼓 】



一昨年度、昨年度と新型コロナウイルス感染症の影響で開催することが難しかった地域の行事が9月に入ってからこれまでにいくつか行われています。その中でも9月25日(土)の「富木島ふれあいコミュニティ 大運動会」、10月22日(土)の「富木島ふれあいコミュニティ 防災訓練(今年度は「市民総合防災訓練」として実施)」では、地域の皆様、保護者の皆様、そしてふきしまの子どもたちが一緒になって取り組む姿が特に輝いていました。



【 富木島ふれあいコミュニティ 大運動会 (防災運動会として実施) 】



【 富木島ふれあいコミュニティ 防災訓練 (今年度は「市民総合防災訓練」として実施) 】

富木島ふれあいコミュニティ宣言の合い言葉の一つに「こどもたちの生まれ育った町、こどもたちに故郷を」があります。こうした地域の皆様の温かい思いのもと開催・実施される地域の行事に、ふきしまっ子が参加する機会を大切にしていきたいと思ひます。